

久

「しばらくりに帰省した先輩がひとこと「地平線を見たい」と。それなら私の地元におすすめ場所がありますよ」と江口浜を訪れました。柔らかい日差しの下、2時間ほど思い出話に花を咲かしていました。

「日置市は自然がきれいで癒される。次はもっといろいろなところに連れて行ってね」と言って帰って行かれた先輩。その後ろ姿を見て、もっと多くの市外の方に日置市の魅力をご案内したいと思いました。

(日置っ子 伊集院町 20代女性)

お便りありがとうございます。

若者が浜辺で思い出話や将来の夢について語る、とても絵になります。

自分の地元が褒められるというのはうれしいことですよね。同じ鹿児島県出身でも、自分の地元以外のことはあまり知らないものです。ぜひその先輩にもそれ以外の人にも、地元の人しか知らない日置市の魅力をたくさんPRしてください。

母

「母が他界して3年。その実家(吹上町)に母が細々と作っていた畑も荒れ、昨年から少しずつ耕して、連休中はスイカ、オクラ、エダマメなどの苗を植えました。週末しか行けないけどこの先の収穫を楽しみに、母の作っていた見よう見まねで、育てていきたいと思っています。」

(遠矢仁史 鹿児島市 50代男性)

お便りありがとうございます。

今から収穫の時期が待ち遠しいですね。所有者が亡くなってしまうと、すぐに農地は荒れてしまいますよね。自分が大切にできた畑の手入れをしてもらえて、お母さまも大変喜ばれていることと思います。私の父も、亡くなった祖父の農地を手入れしています。作っているのはお米だけです。畑も定期的にトラクタで耕したり、草払いをしたりしており、こちらも週末にしか行けないので大変そうです。私も父から引き継ぐ日が来るのでしょうか。遠矢さんを見習えるよう、今のうちに父からいろいろと教わっておきたいと思います。

今月のお題～連休サイコー!!～

14

「年前に始めた友達家族とのバーベキュー。芝に3人の同世代の子どもがいて毎回にぎやかなBBQでした。定番は肉のほかにけい飯。しかし、子どもが大きくなるにつれて、大人だけでしてもねえと思うようになり、居酒屋での飲み会へと代わりました。今年6年ぶりにBBQの復活。定番のけい飯も。子どもの参加は3人。ほとんどが大人ですが、楽しいひとときでした。また来年のGWも子どもも参加にかかわらず、BBQを楽しみたいです。」

(陸 伊集院町 50代男性)

お便りありがとうございます。

たくさんの方が集まって、空の下でワイワイするのは楽しいですね。けい飯が出るのは珍しいですね。私も小さいころ、家の庭でBBQをしていました。近所の友人や時には親戚を招いて。私も去年父の一声で久しぶりにBBQ復活しました。昔と違っていたのは、片手にビールを持っていたこと、隣に妻がいたこと。話す内容もくだらない内輪話で、今も昔も変わっていないような気がして、懐かしい気持ちになりました。

最近は一近所問題や準備・後片付けが大変という理由でBBQ人口は減ってきているのでしょうか。

BBQで大切なことは誰かの「やりましょう」の一声です。その一声がある限り、陸さんの熱い夏は終わりません！

春

「春の決意」を見て、心に浮かんだのは「何でも楽しむぞ！」でした。今年のゴールデンウィークは有言実行すべく、仙巖園、砂の祭典など、たくさん出かけました。中でも木下大サーカスの素晴らしかったこと！今年も天気も良く、本当に連休サイコー！楽しいゴールデンウィークになりました。」

(はらへこあお虫 伊集院町 30代女性)

お便りありがとうございます。

日置市へようこそ。鹿児島島の歴史や伝統を堪能できて、まさにサイコーのゴールデンウィークでしたね。しかも、木下大サーカスまで！今度は、日置市を堪能する番ですね。春にはふるさと港まつり、秋には妙円寺詣りなど、この他にも多数のイベントや観光スポットがあります。たくさん足を運んで、サイコーの日置市ライフにしましょう。

今年の連休も伊集院へちまきを作り、帰省しました。母が作ってくれていた時は子ども小さくて、帰省することなく、母が送ってくれたのおいしくいただきました。娘たち4人でした。亡くなって7年。5年前から長女の私が帰省し、4人姉妹で竹の皮などを集めて作るのが恒例となり、母が1人で作っていたのは大変なことだった、こうだったと昔話をしながら。おのおの仕事が元気で続けているのも丈夫な体で育ててくれたおかげと感謝しながら。ゆつたりの山々の中に1週間暮らせるのもありがたく休みました。
(ムツ子 大阪府 70代女性)

お便りありがとうございます。
何をすることも体が資本。両親に感謝です。私も親戚からちまきをいただいたときに、ふと「ちまきってどうやって作るの」と思い、調べてびっくり。意外と手がかかるというのを知りました。それを知り、よりいっそうおいしく食べることをできるようにしました。
これからもおふくろの味、ちまき作りを姉妹仲良く楽しんでください。

今月のお題～連休サイコー!!～

～日置市お便り板～

読者の声お返事コーナー 「ホームページ」vers

今 月号の表紙、すばらしいですね。いつまでもながめていたいです。青空の下、1本ずついいねいからいもの苗を植えていく、こんな風景を見ると、ホッとします。うねを作り、ピニールを張り、穴をあけ植えていく、本当に大変です。小さい頃、母が植え、その頃はピニールなしで、草とりをした記憶があります。久しぶりに母のことを思い、懐かしさでいっぱいになりました。

(懐かしいからいもの草とりしたい 伊集院町 70代女性)

お便りありがとうございます。
お褒めの言葉ありがとうございます。大自然の中、空の青さにも負けず、農作にいそしむ風景はとも絵になります。何年か経ったら、どこも機械化されて、このような風景も見れなくなってしまうのかと思つと少し悲しい気持ちになってしまいました。
暑い中、外での作業は大変ですが、お体に気をつけて日本の農作風景を守ってほしいですね。

結

婚を機に美山にも私の帰れる実家ができました。

とても歴史の多い美山は私の好きな伝統ある陶芸や自然豊かな田んぼにキレイな空気が。山を下ると江口浜の広い海もすぐ近くにあり、素敵がたくさん場所です！朝夕のお散歩もとてもいい気分転換になり、毎週のように帰ってきたくなるくらいです。最近では2か月に1回ある「美山の朝マルシエ」などもあり、お若い方からご年配の方々まで楽しめるイベント行事も増えていて、より一層、素敵な美山の魅力を県内外問わず、知っていただけて、とてもうれしいです。

(Iina ♥ 始良市 20代女性)

お便りありがとうございます。
自分の故郷も愛してもらえてご主人も幸せだと思えます。美山で育ったからこそ何かオーラのようなものをご主人から感じ取って、そこも含めて惹かれあつたのかもかもしれませんね。自分の実家や故郷は選ぶことができませんが、第2の故郷というのは選べるということなのかもしれませんね。
美山だけでなく、日置市にはたくさん観光名所があります。ぜひ友人や知人も連れて、毎週のようにお越しください。

フリートーク

広

報ひおきを毎月読んでいます。5月号の地域おこしプロジェクト美山観光協力隊の記事、地域の活性化に大きな力になると思います。日置市は4つの地域に約4万8千人の人たちが生活しています。山・海の自然風景に恵まれ、県都地にも近く、通勤・通学にも恵まれています。この地に住んで35年経過しました。健康維持のためウォーキングは美山やきものコース、江口海岸コースなど自然に囲まれたコースを歩いて、地域の人々と絆を深めています。
(飲み助じいじい 東市来町 70代男性)

お便りありがとうございます。

美山やきものコースも、江口海岸コースも大変興味深いです。自然に囲まれたコースでの運動は、健康維持にかなりの効果が期待できますね。しかも地域のひととの絆まで深めることができるなんて、とても有意義な時間だと思います。

美山観光協力隊の活動も大切ですが、市民の皆さまが日置市の魅力を伝えていくことも大切です、広報担当として、皆さまと一緒にいろいろな日置市の魅力を伝えていけるようにがんばります。

西

城秀樹さんの訃報に触れ、同い年の私は喪失感とともに思わず泣いてしまいました。

その時、頭の中に浮かんだ彼の曲が「ブルースカイブルー」で、思わず口ずさんでいました。今は亡き両親と農作業の途中でふと手を止めて、見上げたあの空の青さ、どこまでも高い空。まさに「ブルースカイブルー」そのものでした。この曲が流行っていた古き良き昭和を生きていた自分の姿と重なり、また涙が溢れました。

(H・Y 日吉町 60代女性)

お便りありがとうございます。

世代は違いますが、私も彼の曲は知っています。名曲というものは、時代が変わっても歌い続けられるものです。そして当時のことを思い出させてくれる、これも名曲の条件なのだと思います。

H・Yさんのように悲しみに暮れている人はたくさんいるでしょう。しかし、私たちが彼の歌を口ずさみ続ける限り、彼は私たちの心の中に生き続けると思っています。

青空よ 心を伝えてよ 悲しみは余りにも大きい
青空よ 遠い人に伝えて さよならと

西城秀樹さん、心から冥福をお祈りします。